

# 1 進行中のプロジェクト紹介

## 上毛印のブランド化

●コミュニティ計画「全体プロジェクト」No.06

### MADE IN KOGE

上毛町産の木材を使用した質の高い製品を作り、上毛ブランドとして広く発信していくために研究を重ねています。今年度は「木の温もりをより多くの人に感じてほしい」という思いを込めて、上毛産ヒノキの箸置きや木製フォトスタンドを製作。今後は、製品の質と数を確保し、町内の小学生や地域の皆さんに使用していただきたいと考えています。



### koge遊夢会

上毛町産の椎茸をブランド化するために結成されました。椎茸を栽培している仲間を募り、みんなで統一したパッケージやロゴを使用することで、上毛ブランドの面的な広がりを目指しています。また、椎茸の駒打ち体験ができる環境を整え、都市農村交流による地域活性化にも力を入れています。



### よらんかい

日頃から、工作や料理づくりなどメンバーの特技を活かして精力的に活動を行っているよらんかいの皆さん。地場産の新鮮野菜や米粉をふんだんに使用した猪汁「上毛汁」を町の名物料理として、福岡市や北九州市で開催される物産展で販売し、町のPRを行っています。



# 2 これから広げていくプロジェクト

## 尻高米のブランド化

～まちの名産品づくり～

●コミュニティ計画「西吉富プロジェクト」No.14

尻高米を生産している農業者を中心に、友枝地区とも協力して、専門家を招聘しながら尻高米をブランド化し、上毛町の名産品として道の駅などで売り出していきます。

## 地元の特産品

～果樹加工品のアピール～

●コミュニティ計画「唐原プロジェクト」No.05

果樹生産者や加工グループで、地場産の様々な果樹を使った新規特産品をつくり、直売所などで販売していきます。

# 広がり始めた地域づくり活動事業

このコーナーは、上毛町コミュニティ計画に掲げられた88のプロジェクトの推進状況を「安全安心活動」「景観保全活動」「文化伝承活動」「交流活動」「情報発信活動」の5つの分野に分けて紹介するもので、今回で6回目です。



## 上毛印のブランドづくり 情報発信活動

# 6

上毛町のブランド品と言ったら何を思い浮かべますか。

400年以上の歴史を持ち、かつて小倉藩主細川忠興に献上されていたといわれる名産川底柿。清流友枝川や肥沃な土に育まれた美味しい棚田米。地域の素材を活かし創作された味噌やようかん、御当地バーガーなどの加工品が、近年、広報誌などでも取り上げられるようになっていきます。

古くから盆や正月に欠かせない御馳走として暮らしの中にあつた「にくい」などの伝統的な郷土料理をはじめ、いつからか地域に根付き親しまれている「からあげ」も、新しい郷土の味として、実は町を代表するブランド品といえるのかもしれませんが。

特に、これら産品を守り育てている皆さんの活力に満ちた「上毛人気質」は町の誇りといえます。今回は、新たなブランドづくりに挑む皆さんの活動を紹介します。

